

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	セルフブランディング		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	セルフブランディング	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用口					
授業概要						
オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。(自己啓発、リーダーシップ、価値観、目標達成など) また、卒業生や外部協力企業に依頼してオリジナルコンテンツを作成し、視聴する。						
到達目標						
学生自身が、その手にしっかりと「自分の人生のオール」を持ち、漕いでいくために、自分のブランドを知り、自分が目指すのはここだ！という「羅針盤(コンパス)」を設定できるようなコンテンツを、オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～8回目	「理想の自分、なりたい自分」と価値観					
【前期】 9～13回目	ビジョン・ゴール					
【前期】 14～19回目	感情のコントロール					
【後期】 20～24回目	思考のルール					
【後期】 25～27回目	リーダーシップ					
【後期】 28～33回目	チームビルディングとフォローシップ					
【後期】 34～37回目	物事のとらえ方(パラダイムシフト)					
【後期】 38回目	コミュニケーション力					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	各動画については、レポートを課す。①今回の動画で印象に残った言葉は？②今回の動画を視聴して、明日から行動することを具体的に1つあげてください。③今回の動画の感想は？ 一方的な動画視聴で終わらないように、担当教務からのフィードバックを全体に行っている。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	サウンドアナライズ		授業形態 / 必・選	講義	選択	
	学則上表記	サウンドアナライズ		年次	1・2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	舞台製作コース/PAコース/企画制作コース/音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	音楽ソフトの企画・制作からプロモーション、アーティストマネジメントに従事。その後、ヘアメイク、スタイリスト、カメラマン、デザイナーなどクリエイターのマネジメントに移行。現在も幅広く業務を行っている。					
授業概要						
さまざまな年代、ジャンルの音楽について知識を深める。音楽の歴史背景だけでなく楽曲そのものにも触れていく。						
到達目標						
スタッフとしてアーティストの要望に対応するため音楽ジャンルの幅を広げる。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	クラシック(古典派)、弦楽四重奏(Vln、Vla、Vc、Cb)／クラシック(ロマン派)、Apf ラグタイム、Resonator／ブルース(Guitar、Harmonica)					
【前期】 6～10回目	ジャズ(Tp、Sax、Tb、C.B、Hammond Organ、Leslie Speaker)／ビックバンドジャズ(Vib、Ondes Martenot) カントリーミュージック(Banjo、Steel Guitar、Resonator G)					
【前期】 11～15回目	R＆B(Mandolin、Bandoneon、Auto Harp)／ゴスペル(String Bender、Wurlitzer、Clavinet)／ロックンロール					
【前期】 16～19回目	70年代歌謡曲(CP70)／80年代歌謡曲(DX-7) 前期試験					
【後期】 20～24回目	90年代歌謡曲(SEQ)／ロック(Mellotron、Moog Theremin)／サーフィンロック グラムロック／プログレッシブロック／パンクロック					
【後期】 25～29回目	ハードロック(Mashall、Fender Twin、Ampeg)／フュージョン(Rhodes) ボサノヴァ／シャンソン／インディアンミュージック(Sitar、Electric Sitar)					
【後期】 30～34回目	レゲエ／ハワイアンミュージック(Ukulele)／ヘビーメタル(Twin BD) ジャパニーズ／メタル					
【後期】 35～38回目	ヴィジュアル系ロック／ジャパニーズ・ロック 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	パソコン講座Ⅰ		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	パソコン講座Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース/企画制作コース□				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP(デスクトップパブリッシング)のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。					
授業概要						
通常業務でよく使用されている「Word」「Excel」「Illustrator」についての解説、操作実習。 フライヤー・WEBプロモーション時における情報管理の徹底、SNSの取り扱いについて						
到達目標						
音楽業界で必要とさせる「Word」「Excel」「Illustrator」の3つのソフトの基本的な操作方法。 就職してからすぐに役立つ技術の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	iMacの電源の入れ方 各種アカウントの設定 Macの基本操作の確認					
【前期】 6～10回目	【Word】 Wordの使用方法 タイピング練習を兼ねた文字入力					
【前期】 11～15回目	【Excel】 簡単な計算 タイムテーブル作成					
【前期】 16～19回目	【イラストレーター導入】 基本ツールの説明 図形描画、色付け、最前面、最背面					
【後期】 20～24回目	【ペンツール】 直線を描く/スムーズポイント/コーナーポイント 直線から曲線への変化					
【後期】 25～29回目	・パスの修正の仕方 ・整列設定(等間隔)・回転、移動等 ・ペンツール総合問題					
【後期】 30～34回目	Excellによる計算法 Excellによる精算書作成					
【後期】 35～38回目	課題提出 1年間の総まとめ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	エンタメ業界講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	エンタメ業界講座		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース 企画制作コース/アーティストスタッフコース/音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	2001年に株式会社ドワンゴへ入社。部長職を経験後、音楽レーベル子会社へ転籍、プロデューサー職へ。ボーカロイドをはじめとするニコニココンテンツや声優・ラジオコンテンツのCDパッケージを数多く担当。現在はフリーランスとして、ネットやアプリの配信番組も多く担当、その他、動画の撮影編集、SNSを含めた運営及び運用、専門学校講師等に従事。					
授業概要						
アーティスト/タレントとプロダクションを中心とする、エンタテインメント業界のさまざまな職種と業務および関わりを学ぶ。						
到達目標						
業界内の会社知識の修得および業界企業の相関性の理解。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	芸能業界の全体像について					
【前期】 6～10回目	プロダクションの業務内容について レコード会社の業務内容について					
【前期】 11～15回目	著作権について 音楽出版社の業務内容について					
【前期】 16～19回目	TV・ラジオ/書籍出版社/Webメディアの業務内容について 媒体研究					
【後期】 20～24回目	RECスタジオ/マスタリングスタジオ/リハーサルスタジオについて					
【後期】 25～29回目	映像制作会社/編集スタジオ/MAスタジオ/音プロについて					
【後期】 30～34回目	ホール/ライブハウス/イベントについて					
【後期】 35～37回目	PA/照明/舞台/ローディー/機材レンタル会社について					
【後期】 38回目	総括。					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	一般教養講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	一般教養講座	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース/企画制作コース/ レコーディングコース/PA&レコーディングコース/アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	音楽専門誌の記者を経て、東京未来大学こども心理学部・特任准教授として教鞭をふるう。 現在は音楽教育の場におけるコミュニケーションのあり方をテーマに研究中。					
授業概要						
「コミュニケーション能力」「状況判断能力」「説明能力」の3点をテーマとした講義。						
到達目標						
社会人としての基礎的スキルの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	Eメールの使い方/Eメールのアドレス帳の活用 言葉による状況説明①(時系列) 就職活動セミナー①					
【前期】 6～10回目	言葉による状況説明②(情報の整理)/言葉による状況説明③(話の要約)/言葉による状況説明④(主観と客観) 文章の書き方①(話し言葉、書き言葉)/文章の書き方②(5W1Hの活用)					
【前期】 11～15回目	ビジネスメールの書き方 就職活動セミナー② ビジネス文書①(文書の種類)/ビジネス文書②(社内文書)					
【前期】 16～19回目	ビジネス文書③(社外文書)/ビジネス文書④(社交文書) コミュニケーション論(概論)/非言語コミュニケーション/表情とコミュニケーション					
【後期】 20～24回目	就職活動セミナー③ 距離によるコミュニケーション/言語コミュニケーション/説得的コミュニケーション					
【後期】 25～29回目	敬語①(敬語の分類)/敬語②(尊敬語)/敬語③(謙譲語)/敬語④(間違いやすい敬語)/敬語⑤(仕事でよく使われる敬語)					
【後期】 30～34回目	就職活動セミナー④ 履歴書の書き方①(基本データ)/履歴書の書き方②(自己PR)/履歴書の書き方③(志望動機)					
【後期】 35～38回目	【心理学講座】 自分を知る/社会からの影響/他者との関わり					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	制作講義		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	制作講義	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	企画制作コース/舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大手レコード会社にて宣伝やアーティスト担当業務に従事。その後、プロダクション業務を経て、現在はフリーランスでマネージメント、プロモーション委託、イベント制作委託を請け負っている。					
授業概要						
コンサート・ライブ制作の基本を重点に多くの事を学んでいきます。						
到達目標						
コンサート・ライブ・イベント制作におけるスムーズな進行・管理・運営を目指す						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	舞台用語を学ぶ					
【前期】 6～10回目	イベントの組み方を知る 出演者ブッキングについて					
【前期】 11～15回目	予算について学ぶ プロモーションについて					
【前期】 16～19回目	SNSプロモーションについて 資料作成(タイムテーブル・セッティング図など)					
【後期】 20～24回目	企画ライブに向けて準備作業					
【後期】 25～29回目	実施したイベントについての反省会 次回のイベントに向けて準備					
【後期】 30～34回目	企画書・タイムテーブル・セッティング図等 資料作成					
【後期】 35～38回目	1年間の総まとめ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	舞台制作実習Ⅰ-I		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	舞台制作実習Ⅰ-A		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大道具会社～舞台監督会社を経て、現在海外アーティストを含む数多くのアーティストの全国ツアーを手掛けている舞台監督。					
授業概要						
舞台業界標準となっている図面アプリケーション「VectorWorks」を使用し、図面の基本・基礎を学ぶ。						
到達目標						
舞台図面の作成技術の向上・各図面から細部にわたる情報の読み取り方の取得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～3回目	＜業界基礎知識＞ ライブに関わるさまざまな業種/各業種の仕事内容					
【前期】 4～9回目	＜舞台基礎知識＞ 尺貫法/舞台用語/ライブ1日のながれ/舞台演出、舞台機構/舞台図面/各セクション基礎知識/特効・レーザー					
【前期】 10～15回目	舞台進行について タイムテーブル作成 Vectorworks基礎講座					
【前期】 16～21回目	譜割り・曲順表作成 Vectorworks基礎講座					
【後期】 22～24回目	立ち位置、スミ出し、ロープワーク等 進行表作り Vectorworks基礎講座					
【後期】 25～29回目	企画ライブに向けてVectorworks実践講座					
【後期】 30～37回目	企画ライブに向けて各種資料作成 (タイムテーブル・進行表・譜割り・曲順表・図面等)					
【後期】 37～38回目	1年次に学んだことの復習・まとめ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	舞台制作実習Ⅰ-Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	舞台制作実習Ⅰ-B		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	舞台製作コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	大道具会社～舞台監督経験を経て、フェスやイベントの舞台進行に従事。					
授業概要						
大道具作業教室にて工具を使用して製作物の技術力を高める。 MACを使用してタイムテーブルの作成						
到達目標						
舞台監督／大道具／舞台スタッフとしての基本の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	舞台基礎用語 機材の運び方 ロープの縛り方					
【前期】 6～9回目	＜工具の使い方＞ ナグリ・パール・インパクト・ノコギリ等					
【前期】 10～15回目	山台施工方法 パネルの繋げ方 スリングの使い方					
【前期】 16～17回目	前期試験対策					
【前期】 18～20回目	ソレノイドの仕込み～曲に合わせて実践 パネル吊り					
【後期】 25～27回目	舞台監督／進行／ライブの一日の流れ					
【後期】 28～29回目	立ち位置／バミリ／導線／ケーブル養生					
【後期】 30～38回目	後期試験対策 ライブイベントのセットの製作					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	舞台製作実地演習Ⅰ		授業形態 / 必・選	演習	必修	
	学則上表記	舞台製作実地演習Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	4回(20単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。					
授業概要						
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。						
到達目標						
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。						
授業計画・内容						
1回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント					
2回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 屋内会場					
3回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 屋外会場					
4～5回目	ゲスト講師による舞台製作授業					
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						